

# 地域安全学会

## 2016年度第3回理事会 議事録

日時：2016年9月10日（土）15：00～17：00

場所：同志社大学東京オフィス

東京都中央区京橋2丁目7番19号 京橋イーストビル3階

出席者：糸井川，《目黒》，清野，【生田】，《池田》，市古，稲垣，梅本，【大西】，《大原》，《岡田》，  
【加藤】，柄谷，越村，小山，指田，庄司，立木，田中，西川，《能島》，秦，藤本，牧，松  
岡，村尾，森，八木，《矢代》，山崎，重川，宮野

（注：《》：委任状、【】：欠席）

事務局：竹本、上木

配布資料：28-3-1 2016年度第3回理事会議事次第（糸井川）  
28-3-2 2016年度第2回理事会議事録案（糸井川）  
28-3-3 会員数 会費納入状況等（竹本・上木）  
28-3-4 新規入会・退会者リスト（竹本・上木）  
28-3-5-1\_文科省リスクミ事業申請書（立木）  
28-3-5-2\_文科省リスクミ事業プレゼン資料（立木）  
28-3-5-3\_2016年度地域安全学会役員名簿(案)\_修正版（糸井川）  
28-3-5-4\_文部科学省リスクミ事業チェックリスト(申請時)（糸井川）  
28-3-5-5\_文部科学省リスクミ事業補助金の適正な執行（糸井川）  
28-3-5-6\_文科省リスクミ事業規定案(Ver.20160907).zip（糸井川）  
28-3-5-7\_文部科学省リスクミ事業チェックリスト(Ver.20150907)  
28-3-6-1\_賛助会員の特典に関する申し合わせ（糸井川）  
28-3-6-2\_名誉会員の推薦の基準、ならびに、顧問の選出に関する申し合わせ（糸井川）  
28-3-6-3\_一般社団法人地域安全学会名誉会員就任のお願い（糸井川）  
28-3-7\_研究運営委員会\_「企画研究小委員会」新規研究テーマの募集について（梅本）  
28-3-8\_NL97号（2016年10月）「内容と担当者」案（藤本）  
28-3-9\_防災学協会連合組織報告（加藤）  
28-3-10\_安全工学シンポジウム2016

議題：

### 1. 前回議事録の確認（糸井川）

資料28-3-2 第2回理事会議事録案 については、下記3点を修正したもので承認された。

- 3. 会計・会勢・会員管理関係  
（3）2年会費滞納者・・・→（3）2年間会費滞納者・・・に修正
- 7. 広報委員会関係 最後の一文を「広報委員（ニューズレター担当）については、秦理事がニューズレター第96号まで務め、その後任として藤本理事が指名された。」に修正
- 9. 国際交流関係  
発表申し込み 40件 →44件に修正  
総エントリー数 95件 →96件に修正

## 2. 会計・会勢・会員管理関係（上木・竹本）

## (1) 2016年度会員数・会費納入状況

2016/9/9(金)時点での2016年度の会員数・会費納入状況は以下の通りである。

会員種別	2016年 会員数	内、新規 会員数	納入済	未納	未納率	2015年 会費未納
賛助会員	2	(0)	2	0	0.0%	0
正会員	549	(27)	369	180	32.8%	32
学生会員	94	(27)	46	48	51.1%	24
名誉会員	14	—	—	—	—	—
総数	659	(54)	417	228	35.3% ※	56
割合	—			64.7%	35.3%	

※総会員数から名誉会員数を除外したものを母数として全体の未納率を計算

## (2) 会費未納者への対応について

前回理事会で未納者へ督促状を出すことになっていたが未対応のため、急ぎ事務局より督促状を送付する。

## (3) 新規入会者、退会者

2016/4/4～2016/9/9の期間の新規入会者については問題なしとして入会が認められた。

2016/4/4～2016/9/9の期間の退会者については、名誉会員への就任を依頼していた梶 秀樹氏が含まれているため、名誉会員就任への回答状況を確認する。そのほかは問題なしとして退会が認められた。

## 3. 研究運営委員会関係（梅本）

今年度設置されている研究小委員会は2件のため、新規テーマを募集すること及び募集スケジュールが梅本理事から提案され、承認された。応募提案のなかから1～2件採択する。

## 4. 文部科学省リスクコミュニケーションのモデル形成事業（学協会型）申請について（糸井川・立木）

## 4-1. 事業申請経過（立木）

立木理事より、8月5日の面接審査の際に使用したプレゼンテーション資料を基に、本事業の取り組み、参画する研究組織・研究者、実施体制、達成目標、年次計画が報告された。

## 4-2. 関係する既存規程類の変更、経理・コンプライアンス等規程等の新設（糸井川）

体制整備のため、既存の規程類を変更し、経理・コンプライアンス等の規程等を新設した。こちらについて、糸井川会長から理事に対し、規程類を一読のうえ、既定内容の改善点の指摘及び資料28-3-5-7の体制整備自己評価チェックリストと規程類との不整合箇所の指摘を依頼された。なお、規程類については、1月の理事会で素案を確認し、3月の理事会で承認を得た後、ホームページで公開する。

なお、9月中に会長・事務局とで1日時間を取り、経理・コンプライアンス等規程類を整える。

また、秋季大会のなかで本事業の特別セッションを開催する。特別セッションの内容については、後日担当が検討する。

#### 5. 前回理事会における申し合わせの確認等（糸井川）

「賛助会員の特典に関する申し合わせ」、「名誉会員の推薦の基準、顧問の選出、および名誉会員推薦の件」については、前回理事会で指摘された点を修正した最終版が提出された。

また、名誉会員への就任については、お願いした14名全員から就任することのご了承をいただいた。

#### 6. 学術委員会関係（牧）

研究発表会論文への投稿論文52編中、採択29編、移行論文8編、不採用15編となった。

電子ジャーナル論文への投稿論文は20編となった。今後査読依頼を行う。

#### 7. 2016年度秋季研究発表会（池田）

報告事項なし。

秋季大会のなかで「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」の特別セッションを実施することを池田理事にお伝えする。

#### 8. 国際交流関係（牧・立木）

##### （1）第4回 ICUDR

ウェリントンにて10月17日、18日の2日間の会議後、10月19日、20日はクライストチャーチにて現地を視察する。

総エントリー数96編のうち、地域安全学会からは44編だった。このうち、日本のプレナリー発表の1編を選定する。

なお、ポスター発表については、パワーポイントのスライド3枚を使い、3分間予告をすることとなった。

##### （2）2017年 ACUDR

担当を西川理事、村尾理事、立木理事の3名とし、早々に検討に入る。

## 9. 広報委員会関係（庄司・藤本）

ニューズレターNo.97の内容と担当者について案が示され、下記の点を修正することとなった。

- 4. 2017年度地域安全学会役員選挙実施の原稿は田中理事が担当する。
- 5. 2017年度企画研究小委員会の研究テーマ募集については、9月16日から大原理事に交代するが、原稿は梅本理事が担当する。
- 「リスクコミュニケーションのモデル形成事業」の特別セッションの開催について掲載する。

なお、質疑応答部分については、各担当者の負担が大きいため、掲載をとりやめてはどうかという提案があったが、公式記録として、質疑応答の記録は残すこととした。秋季大会では、セッションの司会者に質疑応答の内容を400字程度でまとめて提出いただくこととする。

また、大会プログラムについては、発表者の方にメールでお送りしているのみのため、当日、聴講者は論文の内容がわからないまま聴講することになる。そのため、アブストラクトを掲載した大会プログラムをホームページにアップすることとなった。

## 10. 防災学協会連合組織（加藤）

加藤理事からメールにて報告あり。

組織が立ち上がって以降、イベントが多数行われ、顔見せの相互理解は進んでいる。今後何をどう蓄積させるかが課題である。防災に関して蓄積のある地域安全学会としてアクションを起こすべきかと考えている。

## 11. 安全工学シンポジウム（矢代）

矢代理事からメールにて報告あり。

9月26日（月）16時からの実行委員会にて、開催日時、テーマなどが決まる予定である。

## 12. 30周年記念企画について（糸井川）

近々30周年事業担当の理事を招集し、30周年記念企画を進めることとなった。

## 13. 2018年度春季大会開催地について（越村・市古）

開催地は石垣島で決定として、調整に入る。なお、開催日程は検討中である。

## 14. その他

越村理事が9月から長期の海外出張のため不在となる。

○ 次回理事会 日時：11/4（金） 学術発表会終了後  
場所：静岡県地震防災センター

代表理事

糸井川 栄一



監 事

重川 希志依

